

LIGHTGAME RX IC 200/200L

取扱説明書

●安全上の注意

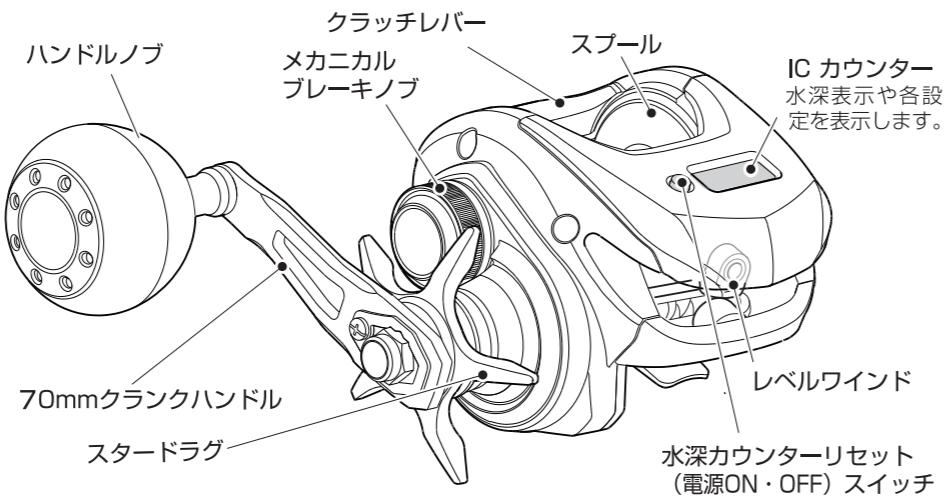
- ①糸をリードするレベルwindの所に指を近づけて釣りをしないでください。怪我をするおそれがあります。
- ②糸が勢いよく出ている時は、糸に触れないでください。糸で指を切るおそれがあります。
- ③糸が勢いよく出ている時は、スプールの上に指を置かないようにご注意ください。火傷や、指をはさんで怪我をするおそれがあります。
- ④キャストの時はクラッチを切るのを忘れないでください。仕掛けが出て行かす、怪我をするおそれがあります。
- ⑤ハンドルとボディの隙間に指・衣服等が挟まると大変危険です。怪我をするおそれがありますので、取扱いには十分注意してください。
- ⑥リールはリールシートにしっかり固定してご使用ください。ガタつきがある場合や固定できない場合は、ご使用を控えてください。釣行中に外れたりすると、怪我をするおそれがあります。
- ⑦乳幼児の手の届く所には置かないでください。予期せぬ事故や怪けにつながるおそれがあります。

●ご使用上の注意

- ①本製品は釣具として開発されていますので、釣り以外の用途で使用しないでください。
- ②本製品は十分な強度基準で設計・製造されていますが、実釣時に想定以上の極端な負荷がかかるケースでは破損するおそれがあります。
- ③根掛かりした時は、無理に竿をおろす糸を棒状の物に巻き付け、引っ張って切るようにしてください。竿をおろすと、竿折れの原因になります。
- ④落下等の強い衝撃がかかると、破損する場合があります。また、竿に装着した状態での落下等、竿尻に衝撃があった場合にも、リールの脚部が破損するおそれがありますので十分ご注意ください。
- ⑤リールのワンウェイクラッチ部に注油しないでください。ハンドルが逆転し、手にあたり怪我をするおそれがあります。
- ⑥ドラッグ付きリールで遠投する際には、ドラッグが滑ると糸で指を傷つけるおそれがあります。必ずドラッグをよく締め付けてから投げるようにしてください。
- ⑦ドラッグを長時間連続使用すると、ドラッグ収納部が熱くなり火傷をおそれがあります。
- ⑧リールの回転部にはグリスや油が付いていまずので、服を汚さないようにご注意ください。
- ⑨クラッチを押し込んだまま、ハンドルを回さないでください。ラインがロックした状態等で、クラッチを押し込んだままハンドルを回すと、クラッチ及びストッパー、ギア等の破損につながります。
- ⑩使用糸の径の大小、糸巻き時の張力の変化、作動クリアランスなどにより、表示巻糸量、巻糸状態に差異が生じることがあります。
- ⑪塗装やメッキなどの表面層あるいは素材の表面が剥がれた場合は、その部分に触れないでください。怪我をするおそれがあります。
- ⑫シンナー、ベンジン、アルコール、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類などの有機溶剤は、ご使用にならないでください。また、上記が手に付いたまま本機を扱うこともおやめください。
- ⑬弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保証できません。また、弊社純正部品以外の部品が取り付けられたままの修理は場合によってはお断りさせていただく場合がございますのであらかじめご了承ください。
- ⑭製品改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

●各部の名称と操作方法

この度は、LIGHTGAME RX IC シリーズ をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
このリールを正しくご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。またリール同様この取扱説明書も大切に保管していただきますよう、お願い申し上げます。



●電池取扱い上の注意

- ①電池は乳幼児の手の届かないところに置き、万一電池を飲み込んだ場合はすぐに医師に相談してください。電池を飲み込むと、化学やけど、粘膜組織の貫通など、最悪の場合には死に至ることがあります。
- ②電池の液が目に入ったときは、目に障害を与えるおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分洗った後、医師の治療を受けてください。
- ③電池を火の中に入れて、加熱、分解しないでください。絶縁物などを損傷させ、電池を漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- ④電池の (+) と (-) を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を引き起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- ⑤電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- ⑥電池はセロハンテープなどで皮膚に固定しないでください。皮膚に障害を起こすおそれがあります。
- ⑦電池に漏液や異臭があるときには、漏れた液体に引火するおそれがありますので、すぐに火気から遠ざけてください。
- ⑧電池が漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがありますので、下記のことは行わないでください。
 - ・電池の (+) と (-) を針金などで接続接続したり、また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電池がショート状態となり、過大電流が流れたりするおそれがあります。
 - ・電池は充電しないでください。充電すると電池内の電解液が加熱され、ガスの発生で内部圧力が上昇するおそれがあります。
 - ・電池を直接はんだ付けをしないでください。熱により絶縁物などを損傷させるおそれがあります。
 - ・電池を保管する場合および破棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁してください。電池を他の電池や金属製のものと混ぜたりすると、電池がショートするおそれがあります。

！ 注意

- ①電源は OFF にしてから電池交換してください。
- ②電池交換は屋内の湿度の低いところで行い、バッテリーケース内に水滴等が入らないように注意してください。
- ③バッテリーケースを開けたまま、長時間放置しないでください。(電池交換作業は5分以内に終了してください)
- ④電池を取り外した時に濡れた金属部分は手や金属で触らないでください。
- ⑤長時間ご使用にならないときは本体から電池を抜いてください。
- ⑥電池交換時、バッテリーキャップやバックン等の部品に傷がついたり、異物が入り込むと防水性能や機能に不具合が生じる可能性がありますのでご注意ください。
- ⑦使用済の電池は、各自自治体の廃棄方法に従って廃棄してください。
- ⑧電池が漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがありますので、下記のことを行わないでください。
 - ・電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしないでください。
 - ・電池は長時間直射日光や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
 - ・電池は直射日光、高温、高湿の場所を避けて使用、保管してください。
 - ・電池を水で濡らさないでください。
 - ・電池は使用、保管時に発熱、変形など今までと異なることに気づいたときは、使用しないでください。

●カウンター電源について

電池寿命が近づいてくると、カウンターに **[E]** が点滅します。
※電池寿命はバックライトの設定が「常時点灯」に設定すると7釣行(1釣行約8時間)程度です。
※付属の電池はテスト用です。作動期間を保障するものではありません。新しい電池と交換してください。

●IC カウンターご使用上の注意

- ①水中に浸すなど無理なご使用はおやめください。
- ②防水性を考え、バッテリーキャップは出荷時にしっかりと閉めてあります。電池交換以外でのバッテリーキャップ開閉はおやめください。
- ③性能上、真冬(カウンター表面温度-10℃以下) および真夏(カウンター表面温度60℃以上)の際には液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- ④偏光グラス使用時、性能上、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- ⑤電源 ON の時、静電気などの影響により、一瞬液晶表示の一部が点灯することがありますが、故障ではありません。安心してお使いください。

！ 注意

IC カウンターが正常な場合でも、使い込んでいくうちにカウンター誤差が生じてきたときには、道糸が伸びていることが考えられます。その際にはお手数ですが再び道糸入力をやりなおしてください。

●メカニカルブレーキノブ操作方法

メカニカルブレーキは、クラッチOFFで仕掛けを落下させる際、スプール回転にブレーキをかける機能です。
メカニカルブレーキノブは、時計回りで締め、反時計回りで緩みます。クラッチOFFにして仕掛けを水中へ投入した際、糸が抜け過ぎない程度に調整してください。また、潮流の影響(二枚潮)や違う重さの仕掛けを交換したときにも、同様に調整してください。また、アンダーハンドキャストで軽くキャストする際には、スプールがガタつかない範囲でメカニカルブレーキを調整してください。

！ 注意

メカニカルブレーキの締め過ぎ、緩め過ぎにご注意ください。
メカニカルブレーキノブを締め過ぎた状態で使用すると、スプールシャフトが焼きつきを起し、異音が発生する場合があります。また、ブレーキ力を強くし過ぎると、構造上ハンドル回転に抵抗が生じます。
メカニカルブレーキノブを緩め過ぎた状態で使用すると、スプールのガタつきや振れが大きくなることで、スプールとフレームの隙間へラインが入り込んだり、落下スピードのダウンやノイズ発生のおそれがあります。更にはスタードラッグとの干渉や、メカニカルブレーキノブの脱落・パーツ紛失のおそれがあります。ご注意ください。

●クラッチレバー

・親指で下に押すだけで、クラッチが切れ、スプールはフリーの状態になります。
・親指でクラッチとスプールを同時に押さえることができるので、すばやく操作が行えます。
※「カチッ」と音がするまで確実に切ってください。

●ドラッグ調整方法

・時計回りに回せばドラッグ設定は高くなり、反時計回りに回せばドラッグ設定は低くなります。使用ライン、釣種に合わせて調整を行ってください。
※左ハンドルモデルは回転方向が逆になります。

●お手入れ方法

●錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で、釣行後必ずメンテナンスを行なっていただくことが重要です。但し、ボールベアリングやギア等は消耗品であり、長期間のご使用により、初期性能は低下する可能性があります。本リールを永らくお使い頂くために、年に1度は(株)スポーツライフプラネットへオーバーホールに出されることをお勧めします。(有料)

<順序>

- ①使用後は、水洗いをお願いします。
 - ・ドラッグを締め込んでから、シャワー等の真水で1~2分間、水洗いしてください。
 - ・特にスプールとクラッチ部分はよく水をかけて塩分を洗い流してください。
- ※リールを水没させて洗ったり、温水を使ったりするのはグリスを洗い流す可能性がありますのでおやめください。
- ・洗った後は、**ハンドルやクラッチ、スプールなどの作動部を動かしながらよく水を切ってください。**水分をタオルでふき取り、ドラッグを緩め、直射日光を避けて陰干ししてください。
- ・内部の水分が完全に乾燥するまで5日ほどかかります。陰干している間は、**時々ハンドルやクラッチ、スプールなど作動部を動かしてください。できれば1日1回程度、作動させる事をお勧めします。**
- ②洗った後は、以下の要領で注油を行ってください。
- ③保管の際はドラッグを緩めてください。

■注油規定

！ ※注油規定以外の注油をされるとリール本体に不具合が発生することがあります。

推奨オイル：
ダイワリールガードオイル (商品コード：04980019) ※市販の防錆潤滑剤等のご使用は結果的にボールベアリングや内部機構部品等の耐久性を損なうおそれがありますのでおやめください。
ダイワリールガードグリス (商品コード：04980020) (釣具店様にてご注文ください)

<注意点>

- ①使用後はリールの汚れ、ゴミをきれいに拭き取ってください。
- ②溶剤(シンナーなど)では手入れしないでください。
- ③ギア部などリールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なためおやめください。また、グリス・オイルの付けすぎは逆に本来の性能を損なう可能性があります。ご注意ください。
- ④IC カウンター周辺への注油はしないでください。電装部の故障につながります。

●標準巻糸量

PE		
1.2号 - 500m	2号 - 300m	3号 - 200m

※巻糸量は目安であり、メーカー・アイテム・テンションにより異なります。

①クラッチレバーを押し込んだまま、ハンドルを回さないでください。
※クラッチを押し込んだままハンドルを回すと、クラッチおよびストッパー破損につながります。
②オーバーヘッドでのキャストはしないでください。
※クラッチが戻り、糸が切れるおそれがあります。
③スプールの着脱は内部構造が複雑なためおやめください。
④PEライン1号以下の細糸使用時に、糸巻きの偏りやバックラッシュの発生によりスプールとフレームのすきまに糸が入り込む場合がありますのでご注意ください。
⑤糸巻終わり径は右図の通り最大でもスプール外周面取部下端までとすることを薦めます。
糸巻き量が多過ぎると、ラインのトラブルや、道糸入力時にエラーが発生する可能性があります。

●スプールにPEラインを巻きはじめる時の結び方

PEライン使用に際しては、糸がスプールから空転するのを防止するため、3回から5回程、糸をスプールに巻きつけた後、しっかりと結び付けてください。また、結び付けた後、強く引っ張っても糸がスプールから空転しないことを確認した後、糸巻きを開始してください。

【ピニオンギア部への注油(グリス)】

①メカニカルブレーキノブを外し、クラッチをOFFにして中のシャフトに注油します。
(極少量、スプレーグリスの場合軽く一吹き程度で結構です。)

【ウォームシャフト部への注油(グリス)】

①図のようにウォームシャフト部へ注油します。
※グリスがIC カウンターへ飛散しないようご注意ください。
※長時間ご使用になり、汚れが激しい場合は、一度オイルを吹き付け汚れを浮かしてからウエスで拭き取り、その後、グリスを注油してください。

【ハンドルノブへの注油(グリス)】

①イラストのようにハンドルノブの根元に注油します。
以上の注油は必ずしも毎釣行ごとに行なう必要はありません。(数釣行に1度程度で十分です)
また、グリス・オイルの付け過ぎは逆に本来の性能を損なう可能性があります。ご注意ください。

※ギア部等リールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なため、おやめください。

※水抜き穴への注油は絶対におやめください。
※リールを長時間(数ヶ月以上)お使いにならない時は、リール作動部を時々動かす事をお勧めします。

「パーツ情報 確認方法」

パーツ情報については【ダイワパーツ検索システム】よりご確認ください



QRコードまたは検索

ダイワパーツ検索システム 検索

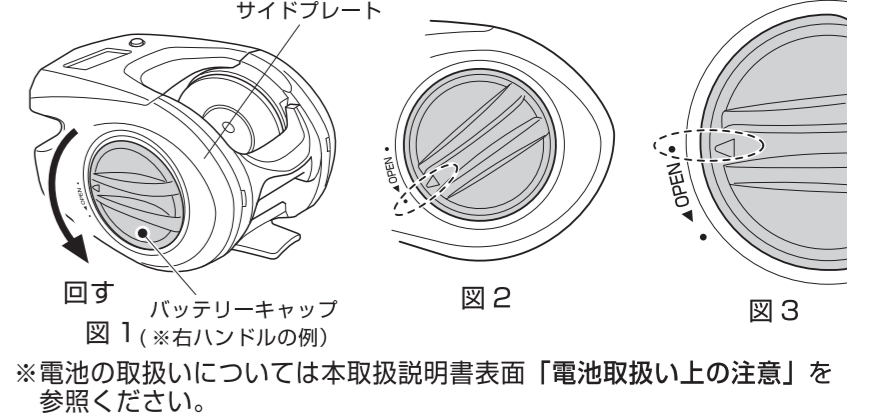
●故障かなと・・・考える前に

症状	処置	備考
カウンター表示がつかない。	①リセットスイッチ(電源ON・OFF)を押してください。 ②室温にしてみう一度たしかめてください。 ③電池切れ、+・-逆入れなどについて確かめてください。	-10℃以下、60℃以上の場合、液晶表示が見えにくくなる場合があります。 電池については本マニュアル中の該当する欄をご覧ください。
カウンター表示が消えない。	リセットスイッチ(電源ON・OFF)を5秒以上表示が消えるまで押してください。	表示が消えたらスイッチから手を離してください。押し続けると変更モードになります。
カウンター表示が勝手に消えた。	リセットスイッチを押してください。但し、初期状態に戻ります。押ししても表示しない場合は、電池を交換してください。	このリールには自動節電機能がついております。(約60分)
カウンター表示がうすくなった。	電池寿命が近づいています。新しい電池と交換してください。	CR2032 コイン型リチウム電池を交換してください。
アラームが鳴らない。音が小さい。LEDが点灯しない、暗い。	電池寿命が近づいています。又は設定がOFFになっているので設定をONにしてください。	設定方法については本マニュアル中の該当する欄をご覧ください。
各設定モードへの移行時[Err]が表示される	電池寿命が近づいています。設定を変更できません。	CR2032 コイン型リチウム電池を交換してください。
カウンターに[E]が点滅する。	電池寿命が近づいています。新しい電池と交換してください。	CR2032 コイン型リチウム電池を交換してください。
カウンターに[H]-[HH]が表示される	道糸の残りが10m未満で糸切れ補正を実施しています。 道糸交換時に表示ONで古い糸を全部引き出して電源OFFを実施しています。	1 [---] になるまでスイッチを40秒以上押し続けてください。 2 スイッチを6回連続で押し続けてください。 3 [0.0] になるまでスイッチを長押ししてください。 ※この操作を行うと初期状態(2号-200m)に戻ります
誤差が大きい。	お手数ですが再び入力をやり直してください。糸の種類によって、糸ののび・ちぢみが多かったり、色分けのスレがある場合もあります。そのために、カウンター表示とのスレが出る場合があります。	

※上記の点検が行われても、正常にならなかつたり、おかしいと思われるときには、お買い求めの販売店、またはお客様センターにおたずねください。他の故障が生じた場合や部品ご注文の際にも同様にお問い合わせいたします。

●電池交換方法

- ①コインなどを使ってサイドプレートのバッテリーキャップを[OPEN]の方向に回し外します。(図1)(電池が落下しないようご注意ください。)
- ②古い電池を取り外します。
- ③新しい電池を入れます。(手前が+になるようにしてください。)
- ④バッテリーキャップを付けて、閉めてください。
- ※バッテリーキャップを取り付ける際は図2のように目印をケース側の目印の位置とあわせてください。
- ※バッテリーキャップの目印がLOCKの位置(図3の状態)になるまでしっかりと閉めてください。
- ⑤電池交換後、[0.0]の表示になれば正常です。
※電池はCR2032です。
※電池交換後も各種設定データ(道糸データ、アラーム設定、LED設定)は消えません。



※電池の取扱いについては本取扱説明書表面「電池取扱い上の注意」を参照ください。

●アフターサービスについて
本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万が一、故障が生じ修理が必要な場合はお買い求めの販売店、または右記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター(無料) 携帯電話からもご利用できます
TEL 0120-506-204 (受付時間) 9:00~17:00 (土・日・祝祭日は除く)
ホームページ上からも確認。お問い合わせください。
www.daiwa.com/jp/
グロープライド株式会社
〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16

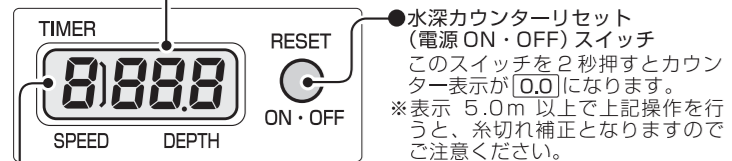
●カウンター電源 ON・OFFのしかた

液晶表示が点灯しているときは、電源 ON の状態です。
ONにする-----スイッチを押してください。
OFFにする-----スイッチを5秒以上、表示が消えるまで押してください。
3秒でアラーム音が鳴ります。

自動節電機能について
電源 ON 時、約 60 分間以上無使用の状態がつづくとき省エネのため、自動的に電源 OFF となる節電機能が働いておきます。
※電源を OFF にしても道糸のデータはメモリーされていますのでご安心ください。

●カウンターのはたらき

●10cm 単位水深カウンター
水面からの水深を 10cm 単位で表示します。



●巻上げ・落下スピード/タイマー表示
※初期設定は巻上げ・落下スピード+タイマー表示になっています。

- 巻上げスピード表示
ハンドル回転時、巻上げスピードを 0~H 表示にて目安として把握することができます。
- 落下スピード表示
仕掛け落下時、落下スピードを視覚的に表示して目安として把握することができます。
- タイマー表示
水深 7m にて自動スタート。仕掛け投入時間 (分) を表示します。

●巻上げスピード/落下スピード表示

※スピード表示の数値は、下表の通りです。
※実釣時の表示値は実際のスピードに準じた数値です。

表示	スピード (cm/秒)	表示	スピード (cm/秒)	表示	スピード (cm/秒)
0	0~20	4	80~100	8	160~180
1	20~40	5	100~120	9	180~200
2	40~60	6	120~140	H	200~
3	60~80	7	140~160		

表示例： **8 | 158**
糸を出す巻く時のスピードを表示

●巻上げ・落下スピード/タイマー表示設定

※初期設定は巻上げ・落下スピード+タイマー表示になっています。

1 表示が [0.0] のときに、スイッチを 14 秒以上長押ししてください。
※ 5 秒で表示が消え、さらに 3 秒でアラーム設定画面、さらに押し続けるとバックライト設定画面になります。
(ここで一旦スイッチを離してください。)

2 再びスイッチを押す度に画面が変わります。

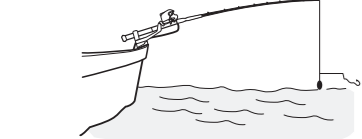
●タイマー
水深 7m よりスタートし、数字が点滅しながら経過時間 (分) を表示します。10 分後に再び 0 から計時を始めます。

●スピード表示+タイマー表示
スプールが回転するとスピードが表示され、スプールが回転しないとタイマーが表示されます。タイマーが表示されるときは数字が点滅します。

3 選んだ画面でスイッチを長押ししてください。表示が [0.0] になり設定完了です。

●水面ゼロ 0.0m 設定 ※釣りを始める前に必ず行ってください。

- 電源 ON
竿にリールを取り付け仕掛けをセットして電源を ON にしてください。
- 水面ゼロ設定
釣り場で仕掛けが水面にある (表示が 5m 以内) のとき、にスイッチを 3 秒押ししてください。表示が 0.0m になります。
※電源が OFF になった場合には、上記の電源 ON と水面ゼロ設定を再度行ってください。それによって、表示誤差が最小となります。



●船べりアラームの使い方

巻上げ中、水深 8m より 2m 間隔で「ビツ」。水深 1m で「ピーツ」と鳴り、仕掛けが船べりに近付いて来るのをお知らせします。
アラーム音で巻くのを止めれば丁度、仕掛けが手元にくるからラクラク！
穂先の巻き込みなどトラブル防止のためにも、ご使用ください。

●デブスアラーム

●落下時：水深表示 10m で 1 回ビツ、20m で 2 回ビツ、30m で (糸を出す時) 3 回ビツ、40m で 4 回ビツ、50m で 5 回ビツ、60m 後に再び 1 回ビツに戻ります。



●船べりアラーム設定方法 ※出荷時は [R on 1] に設定されています。

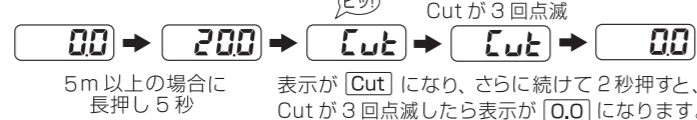
- 1** 表示が [0.0] のときに、スイッチを 8 秒間押し続けてください。
※ 5 秒で表示が消え、さらに 3 秒でアラーム設定画面になります。
(ここで一旦スイッチを離してください。)
- 2** 再びスイッチを押す度に画面が変わります。
- OFF を選ぶと全てのアラームが止まります。
●船べりアラームのみ：糸巻最後の 8m 6m 4m 2m 1m アラーム 1 回。
●船べりアラーム+デブスアラーム
- 3** 選んだ画面でスイッチを長押ししてください。表示が [0.0] になり設定完了です。

●LED バックライト設定方法 ※出荷時は [L on 1] に設定されています。

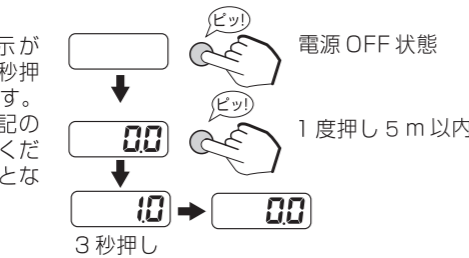
- 1** 表示が [0.0] のときに、スイッチを 11 秒以上長押し続けてください。
※ 5 秒で表示が消え、さらに 3 秒でアラーム設定画面、さらに押し続けるとバックライト設定画面になります。
(ここで一旦スイッチを離してください。)
- 2** 再びスイッチを押す度に画面が変わります。
- 3** 選んだ画面でスイッチを長押ししてください。表示が [0.0] になり設定完了です。

●糸切れ補正のしかた ※スイッチを長押しするだけで一発修正。

表示 5m 以上するとき、スイッチを 7 秒押しして [0.0] になります。



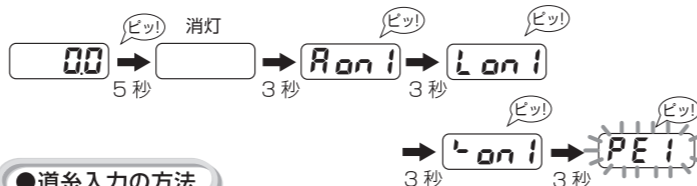
- 切れた道糸の先端を竿先近くまで巻いてください。
 - スイッチを 7 秒以上押し続けて Cut が 3 回点滅して数字が [0.0] になれば修正完了です。
切れたライン分のデータを修正します。
- ※糸切れした場合のデータ修正以外はカウンター誤差の原因になりますので、表示 5m 以上での長押しはしないでください。



●入力方法を選ぶ

※ 200 サイズにはあらかじめタナセンサーブライト 3号 - 200m のデータが入力されています。
200 サイズにタナセンサーブライト 3号 - 200m を巻く場合は、データのインプットは不要です。PE ラインは同じ号数でも太さにばらつきがあります。そのためカウンター表示と糸のマーキングにズレが生じる場合がありますが予めご了承願います。
※巻糸量は目安であり、メーカー・アイテム・テンションにより異なります。

- 表示が [0.0] の時に、表示が [PE] になるまでスイッチを 17 秒以上長押し続けてください。
- スイッチを押す度に点滅画面が変わります。



●道糸入力の方法

注意：糸を全部巻き込まないようにしてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。
●PE0,4号未満の道糸は入力することができません。

●PE1
●リールに巻く糸の長さがわかっている時に便利な方法です。
●50m から 600m までの長さが入力可能です。

- 1** 道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。
※スプール面での糸滑り防止のため、必ずしっかりと糸を結んでください。
※スプールに巻いた糸が滑ると、糸が巻き取れなくなる場合があります。
※ドラッグをしっかり締めてください。っています
- 2** スwitchを押してカウンターを表示させてください。
- 3** 表示が [0.0] のときに、スイッチを 15 秒以上押し続けてください。
※ 5 秒で表示が消えますがそのまま押し続けてください。8 秒でアラーム設定画面になりますが、そのまま押し続けてください。
・11 秒で LED 設定の画面になりますがそのまま押し続けてください。
・14 秒で速度とタイマー設定の画面になりますがそのまま押し続けてください。
- 4** 道糸設定画面になり [PE1] が点滅します。(ここで一旦スイッチを離してください。)

●PE2 : 道糸入力モードで道糸を巻き終った後 10m 引出して入力する方法

- 1** 道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。
※スプール面での糸滑り防止のため、必ずしっかりと糸を結んでください。
※スプールに巻いた糸が滑ると、糸が巻き取れなくなる場合があります。
※ドラッグをしっかり締めてください。
- 2** スwitchを押してカウンターを表示させてください。
- 3** 表示が [0.0] のときに、スイッチを 15 秒以上押し続けてください。
※ 5 秒で表示が消えますがそのまま押し続けてください。8 秒でアラーム設定の画面になりますが、そのまま押し続けてください。
・11 秒で LED 設定の画面になりますがそのまま押し続けてください。
・14 秒で速度とタイマー設定の画面になりますがそのまま押し続けてください。
- 4** 道糸設定画面になり [PE] が点滅します。(ここで一旦スイッチを離してください。)

●10m 引出し補正 実際に糸が出た長さでカウンターの水深表示に誤差が出た場合の補正です。

- 表示が [0.0] の時にスイッチを 23 秒以上表示が [PO] になるまで押し続けてください。
 - スイッチを離すと表示が [PO10] になります。
 - 道糸を正確に 10m 引き出します。(糸を出すとき [PO] が点滅します。)
 - スイッチを 3 秒押ししてください。表示が [10.0] になるので引き出した道糸を巻き取れば完了です。
- ※入力後に糸を巻き定めた場合の補正はできません。
※初期設定値が上記の方法で入力した場合のみ補正することができます。

●下巻用糸入力の方法

■PS2 : 下巻用糸を使う場合の入力方法

- 1** 下巻用糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。
※スプール面での糸滑り防止のため、必ずしっかりと糸を結んでください。
※スプールに巻いた糸が滑ると、糸が巻き取れなくなる場合があります。
※ドラッグをしっかり締めてください。
- 2** スwitchを押してカウンターを表示させてください。
- 3** 表示が [0.0] のときに、スイッチを 20 秒以上押し続けてください。
※ 5 秒で表示が消えますがそのまま押し続けてください。8 秒でアラーム設定の画面になりますが、そのまま押し続けてください。
・11 秒で LED 設定の画面になりますがそのまま押し続けてください。
・14 秒で速度とタイマー設定の画面になりますがそのまま押し続けてください。
・17 秒で道糸設定画面になりますがそのまま押し続けてください。
- 4** 画面が [PS2] になったらスイッチを離してください。
- 5** 実際に釣りをするときと同じくらいのテンション (500g 程度) をかけて下巻用糸を巻き始めると、[PS] が点滅します。
- 6** 巻き終えたら表示が [10] になるまでスイッチを 3 秒以上押ししてください。
- 7** 画面が [10] になったら道糸をしっかり結んでください。
- 8** 10m 下巻用糸を出してください。(糸を出すとき [10] が点滅します。)
※メジャー等で正確に 10m 糸を出してください。
※10m 糸出しは 1m 糸出しを 10 回繰り返す等のやり方でも、出した糸を纏めても、問題ありません。
- 9** 10m 糸を出したら表示が [PS2] になるまでスイッチを 3 秒以上押ししてください。
- 10** 画面が [PS2] になったら実際に釣りをするときと同じくらいのテンション (500g 程度) をかけて残りの道糸を巻きまます。
※糸を巻き取り始めると、[PS] が点滅します。
- 11** 巻き終えたら表示が [10] になるまでスイッチを 3 秒以上押ししてください。
- 12** 糸色に注意しながら 10m 道糸を出してください。(糸を出すとき [10] が点滅します。)
※メジャー等で正確に 10m 糸を出してください。
- 13** 10m 糸を出したらスイッチを 3 秒以上押ししてください。(アラーム音が鳴り、表示が [10.0] になります。)
- 14** 出した糸を巻き取れば完了です。
※ [Err] になった場合は、再度入力をしてください。

